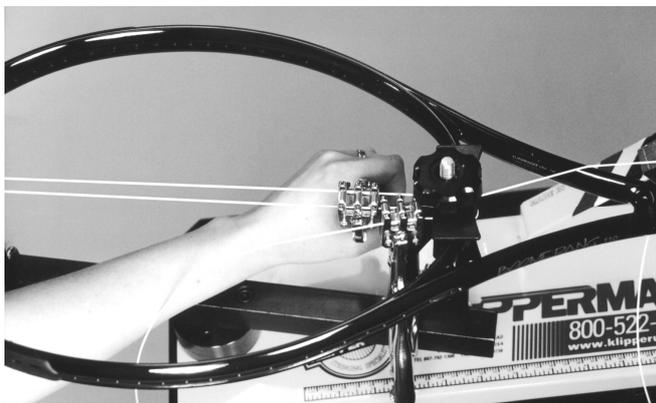
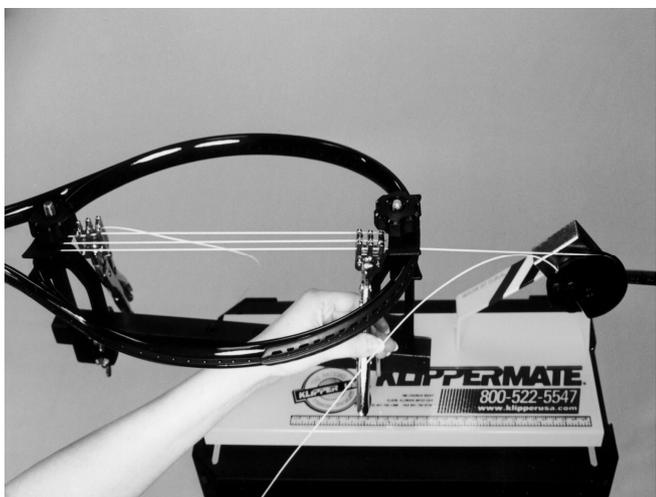


ストリングにテンション（張力）がかかっている間に、トップフレーム側の「ダブルストリングクランプ」と「スタートピン」を外してください。（「スタートピン」はこの時に一度使うだけです）



ストリングにテンション（張力）がかかっている間に、引っぱられている2本のストリング（左右の中央メインストリング）（A-5-2 ページのストリングガイド図の L1 と R1）を、先にクランプした「ダブルストリングクランプ」にくっつけるようにクランプ（挟み込む）します。

「テンションロッド」を左斜め上のアップライトポジションに戻し、「ストリングジョー」からストリングを外してください。



ラケットを右に回して、ラケットのトップフレームを「ストリングジョー」に最も近づけます。

最も近くのストリング（右側メインストリング）をボトムフレームの次（すぐ横）（A-5-2 ページのストリングガイド図の R2）のホールに通し、さらに対応するトップフレームのホールまで通します。

ストリングを「ストリングジョー」に引っ掛け、「テンションロッド」をゆっくりと水平のポジションまで動かしてください。

ストリングにテンション（張力）がかかっている間に、ラケットの真ん中に近い方の「ダブルストリングクランプ」のみを外して、トップフレームに通っている2本の右側メインストリングをトップフレームにくっつけてクランプしてください。

「テンションロッド」を左斜め上のアップライトポジションに戻し、「ストリングジョー」からストリングを外してください。

トップフレームの左側のホールに、ストリングを通し、同じようにストリングを張り続けてください。

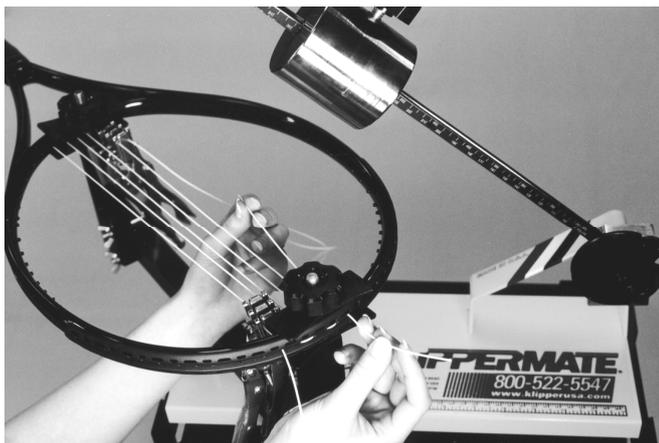
さらに、ラケットハンドルを 180 度回して、再び右側にラケットグリップ部をもっていきます。

「ストリングジョー」にストリングを通して、テンション（張力）をかけます。

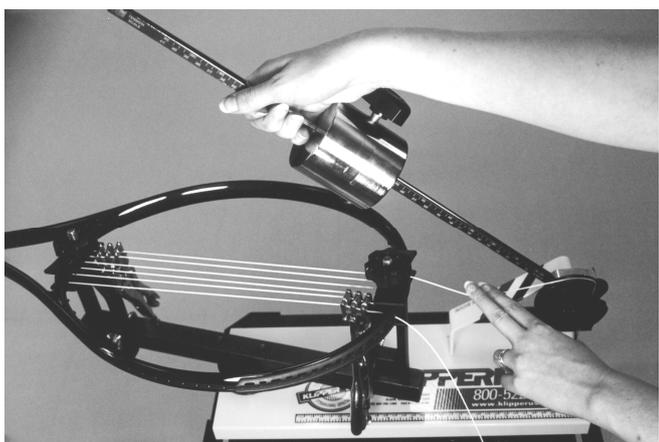
「ダブルストリングクランプ」をトップフレームから外して、ボトムフレームの2本のストリングをクランプしてください。右側のもう一つのストリングも同じ手順（ストリングを通す・テンションをかける・クランプする）を繰り返してください。

ラケットの右側のストリング張りが完全に終了する前に、次のページに掲載しているとおり、左側のストリング張りを始めましょう。

注意：メインストリングを左側から右側に 右側から左側にと左右交互に張ることにより、ラケットにかかる負担・傷害・わん曲を防ぐことができます。

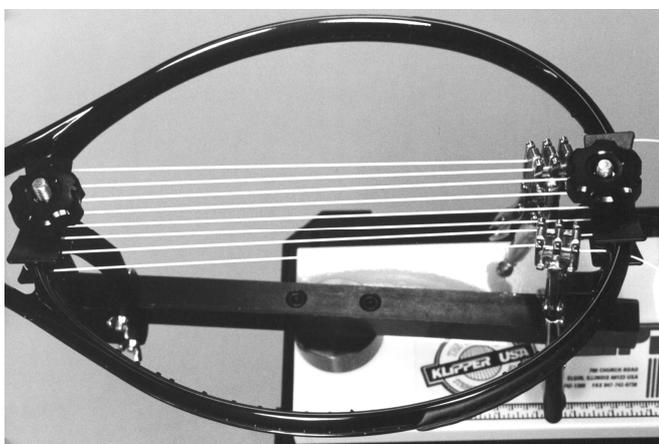


左側メインストリングを張るために、ラケットグリップ部を左手奥側に回してください。
左側メインストリングをトップフレームのホールに差し、トップフレームから全てを引っ張りだしてください。

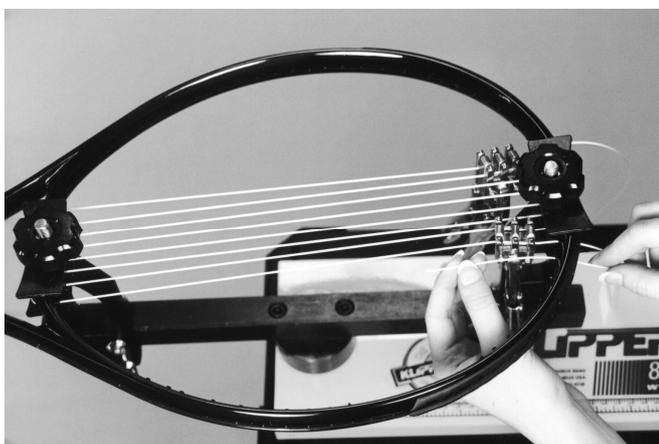


「ストリングジョー」にストリングを引っ掛け、ストリングにテンション（張り）をかけてください。

ストリングにテンション（張力）がかかっている間に、ラケットのスロートエリアの「ダブルストリングクランプ」を外し、トップフレームの2本の左側メインストリングをクランプ（挟み込む）してください。



あと二本のストリングも同じ手順（ストリングを通す・テンションをかける・クランプする）を繰り返してください。
そして、左右4本ずつのストリングが張れたことになります。



今度は、右側からのストリング作業を開始します。
ラケットハンドルを左右交互に交替しながら、メインストリングを張っていくことを推奨します。

メインストリングが張り上がったら、ストリングパターン表の” PATTERN パターン” でメインストリングの本数を確認してください。
16M-18C と記入されていれば、メイン=M が 16 本、クロス=C が 18 本です。
大半のラケットは 16 または 18 本のメインストリング本数です。